



実習で実践力を身につける

な保育者になってほしいと学生と向き合うことができるようになっていく気がします。

一方で変わらないものがあります。私は純真という大学名が好きで、名乗るたびに背筋が伸びます。学生にも卒業生にも、純真で良かったと思ってもらえる大学にしたいという思いがずっとあります。

小林 保育の知識や技術は大切ですが、それ以上に現場で評価されるのは人間性です。後輩の皆さんには純真出身という誇りと自信を持って活躍してほしいと思います。

新谷 純真出身者の評価は高いと感じています。キャンパスは施設や環境がずいぶん充実しました。楽しそうで温かい雰囲気は、私の時代よりもパワーアップしているようです。母校には卒業しても頼れる場所、心のよりどころであってほしいと思います。

眞邊 オープンキャンパスで、高校生だった私に学長が声をかけてくれたことをよく覚えています。家庭的な雰囲気引かれて進学を決めました。学生と先生との距離をこれからも大切にしていきたいです。

保育者になって4年目。今でも大学時代に戻りたいと思っています。この楽しさを高校生にも味わってほしいです。

藤田 かつて、英語コミュニケーション学科などが廃止された後、大学は時代に合わせて変化しなければ生き残れません。

今、人間と人工知能の臨界点がいわれています。だからこそ、私たちは人間性を大切にしなければなりません。気品、知性、奉仕の学園調は人間力につながるもの。さらに、社会の多様性を容容する教養力と包容力へと質を高める必要があります。

本学は学び合う場であっていい。地域とともにありたい。これが本学の普遍的なテーマです。地域の方が職業や年齢にかかわらず学ぶ場として、英語系学科の復活へ夢を追いかけてみたいとも思っています。

齋藤 お話を聞いて、卒業までの期間を大切に人間性をさらに磨こうと思います。

たとえピアノが苦手でも、ここには自分を高める環境と支えてくれる先生方がいます。高校生の皆さん、オープンキャンパスに参加して自分の目で確かめてください。共に学び合い夢を実現しましょう。

貴重な時間をありがとうございました。



学生時代に作った保育教材が「将来、必ず役立つ」



ピアノは1人1台。苦手意識を乗り越える環境と支えがある

保育の現場に生きる「学びの力」 母校は卒業しても心の拠りどころ

オープンキャンパスで高校生や保護者に接する新入生の対応にも、その変化がはつきりと表れます。
藤田 本学の学びは、保育の知識や技術だけではありません。社会人、職業人としての基礎を身につけてこそ、真の保育者だと考えるからです。卒業生の皆さんの話を聞いて、本学の学びの根底に流れるものをあらためて感じる事ができ、とてもうれしい気持ちです。

豊かな人間性を磨く 時代の変化に応える

眞邊 子どもの成長を間近で見られることが仕事の喜びです。声掛けや援助の仕方、子どもたちは変わります。エイエイオーと一緒に頑張ること、共に味わう達成感は学生時代のようで、すてきな職業だと思います。

「この仕事は先生の天職ね」。ある保護者からいただいた言葉が宝物です。私は、子どもたちの第二のお母さんになりたい。私に憧れて保育者になったという子と一緒に働けるまで頑張ります。
小林 良い保育を目指すのは同じでも、価値観は異なることがあります。違いを認め合うことが大切で、保育者には対話能力が求められます。また、子どものささいな変化に気づく力が今まで以上に必要だと感じます。

事務や保護者対応など、保育以外の仕事も多いのが現実です。保育の仕事は体力勝負。基本的な生活習慣を大切にしてください。

新谷 保護者対応などは大きく変化しています。国籍や発達の違いなど、子どもたちも多様化しています。園と保護者、職員が共に成長を支えるようになりました。これからの保育者には対話能力や共感する力がますます求められると感じます。

らためて責任が伴う仕事の重さを感じています。
学生時代に作った手作りおもちゃやパネルシアターなどを今でも使っています。大学の学びが今の実践力として生きています。
小林 幼稚園教諭を3年務めて、結婚。少し時間を開けて、保育士として19年目です。私のころは、食欲に学ぼうという風潮がありました。常に能動的に学ぶ意識は、学生時代に身につけた力だと思えます。

気品、知性、奉仕。この学園調が大好きで、仕事や人間関係、生活などの様々な場面で思い浮かべ、自分を見つめ直しています。
齋藤 先輩方のお話を聞いて、就職してからのことを思いました。特に2年生は手作りした保育教材を実習で試し、自分のものにするよう心掛けています。子どもたちを楽しませる引き出しをたくさん作って、就職後につなげることが大切だと思います。
藤田 学園調を指針とした本学の学びが皆さんの今に生きていて感じます。人間性豊かな人材を育てるといふ本学の姿勢は、決してぶれることはありません。

その一方で、学生の皆さんに何をどのように学んでもらうかについて考え続けています。その意味では、本学の学びは時代とともに変化を続けていると言えます。

小澤 今、学生は「人財チェックシート」に取り組んでいます。保育は、人が財産になる仕事です。先生がいるから助かる、あなたがいるから明るくなるなどと周りに頼られる人間性を、在学中に磨いてほしい。シートはその手助けになるもので、学生は20項目から自らを評価します。

入学してわずか数カ月で、学生は意識を変えていきます。廊下や事務室に入るときの挨拶、オ

母校の学びの底流 今の私をつくったもの

齋藤 保育を学ぼうと決意したのは小学生のときです。幼稚園がとても楽しくて、大好きだった担任の先生に憧れました。オープンキャンパスに参加して、進学は純真だけに絞っていました。
眞邊 私も年長クラスの担任の先生に憧れて保育者を目指しました。母が保育者ということもあって、その思いが強くなり、小学生のときには将来を決めていました。

新谷 私も同じです。幼稚園の先生に憧れて保育の世界を目指しました。
小林 小学生のころの夢は、実は婦人警官でした。保育者を目指そうと決めたのは高校生のときです。幼いころ、近所の赤ちゃんを世話するのが大好きで、幼いながらに自信もあったのでしょう。その記憶が保育と結びついて、この大学に進学しました。

眞邊 在学中の学生会の経験が現在の仕事に役立っています。先輩から受け継いだものを大切しながら、より良くする大変さや面白さを学びました。その経験が、先を見越した保育や後輩の指導に生きている気がします。

また、園で弾く季節の歌などの多くが大学で練習した曲。ピアノの個別指導などもあって、純真での授業が力になりました。

新谷 純真の先生方の指導がとても細やかでした。例えば、実習に行くに当たって立案する指導計画。より多くの援助方法を記載すること、言葉遣いや言い回しなど、本当に細かく指導していただきました。当時は大変としか思いませんでしたが、現場に立ってようやく、その大切さが身に染みんでいます。保育者になって13年目。今、あ



「純真」の名を受け、様々な場面で学園調にならって自らを見直すという卒業生らが、母校の学びについて語り合った

地域に愛される大学 信頼の証

学校法人純真学園理事長 福田庸之助

おかげさまで埼玉純真短期大学は、創立40年を迎えました。節目となる年を迎えることができましたのも、ひとえに多くの方々のご支援があったことと痛感いたしております。特に在学生・保護者の皆様、卒業生の皆様、実習や就職等でお世話になっております保育所・幼稚園・施設の皆様、そして羽生市長をはじめとする行政の皆様、地域の皆様方には筆舌に尽くせぬ温かいご支援を頂いておりますこと、この場をお借りして改めて深く御礼申し上げます。次期です。

この羽生の地にござって40年。設立当初より今日に至るまで決して順風満帆というわけにはいかず、むしろ波乱万丈という歳月であったように思えます。一時は大幅な定員割れという状況にも陥り存続の危機に瀕した時期もございました。にもかかわらず藤田学長、小澤学長をはじめとする教職員の努力により短期大学としては奇跡的なV字回復を遂げ、羽生市の経済発展や地域活性化に伴い、地域の子育て支援や大学連携等の地域活動を通してようやく多くの方から愛される学校になったことに、心から喜びを覚えている次第です。

多くの卒業生たちがそれぞれの立場で社会に貢献をしていることもまたこの40年間の成果と言えると思います。社会で活躍する卒業生によってこれから社会に出ようとする在学生の道が開かれることこそ埼玉純真短期大学に対する信頼の証であり、それを損なうことなく次代に繋げていくこそが我々の使命であることこそが改めて心に刻み所存です。

結びに当たり、少子化の中において次の10年が見えない時代でもありますが、今後とも埼玉純真短期大学へのご支援とご協力をお願いいたしましてご挨拶にかえさせていただきます。

Noblesse oblige
Principle
Hospitality

純真な人であれ

気品 知性 奉仕



埼玉純真短期大学創立40周年

特別記念座談会

埼玉純真短期大学(羽生市、藤田利久学長)が、創立40周年を迎えた。学校法人純真学園(福岡市南区)の創設者は、故・福田昌子女史。医学博士で、国会議員として現在の臨床検査技師法の立法化などに尽力した。純真な人であれ。女史は理想の人間像を描き、気品、知性、奉仕を学園調にうたう。

保育や幼児教育の高い専門性と広く深い知識を修得し、併せて豊かな人間性を育む学びは、40年の歴史とともに保育の現場で高く評価されている。「純真出身と胸を張れる」。第一線で活躍する卒業生が揃って口にする自信と誇り。同大の学びとはどんなものか。藤田利久学長、小澤和恵学長を囲んで、小林ひかり同窓会会長ら歴代の卒業生と、現役生で学生会長の齋藤七海さんが語り合った。後輩へ、保育の世界を目指す高校生へ伝える現場に生きる学びの力を紹介する。



藤田利久さん
埼玉純真短期大学学長



小澤和恵さん
埼玉純真短期大学教員・こども学部長



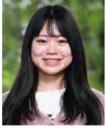
小林ひかりさん
平成4(1992)年卒。
保育士、埼玉純真短期大学同窓会会長



新谷明子さん
平成23(2011)年卒。
幼稚園教諭



眞邊那桜さん
令和2(2020)年卒。
幼稚園教諭



齋藤七海さん
令和4(2022)年入学。
子ども学科2年、学生会長

教育と市政の振興に力添えを

羽生市長 河田晃明



このたび、埼玉純真短期大学が創立40周年を迎えられたことを、心よりお慶び申し上げます。貴学は、昭和58年に、学校法人純真学園により、その崇高な教育理念のもと、ここ羽生の地に創立されて以来、今日まで40年の長きに渡り、教育や保育をはじめとする様々な分野で活躍する多くの有為な人材を輩出してこられました。

また、貴学には、市内の教育機関が連携して教育交流を推進する「羽生市学びあい夢プロジェクト」や「子ども大学はにゅう」の開講など、羽生市政にも幅広く御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さらには、特別支援教育巡回支援事業により、羽生市立小・中学校の教職員に、貴学から特別支援教育に関する専門的な御指導をいただいでおり、教職員の指導力向上及び児童・生徒の資質・能力の向上につながっております。今後とも、羽生市の教育並びに市政各分野の振興に、貴学のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、埼玉純真短期大学の限りない御発展と、関係皆様方の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。

埼玉純真短期大学40年の歩み

- | | |
|-------------|--|
| 1983(昭和58)年 | 埼玉純真女子短期大学開学(英語学科・児童教育学科・幼児教育学科第二部) |
| 2000(平成12)年 | 福田敏南、初代学長に就任 |
| 2004(平成16)年 | 福田順忠、第2代学長に就任。中澤鏡、第3代学長に就任
学科及び専攻課程の名称を変更
・英語学科→英語コミュニケーション学科・児童教育学科→こども学科
・幼児教育学科第二部→乳幼児保育学科第二部
・初等教育学専攻→こども専攻・幼児教育学専攻→乳幼児保育専攻
入学定員変更。こども学科専攻(こども専攻、乳幼児保育専攻)を廃止
・英語コミュニケーション学科:100人→50人
・こども学科:100人→150人 |
| 2005(平成17)年 | 英語コミュニケーション学科募集停止 |
| 2006(平成18)年 | 埼玉純真短期大学に名称変更。乳幼児保育学科第二部募集停止 |
| 2007(平成19)年 | 藤田利久、第4代学長に就任 |
| 2008(平成20)年 | 英語コミュニケーション学科廃止
「教員免許更新制に伴う予備講習」実施
外部評価委員会を設置 |
| 2009(平成21)年 | 第三者評価協議会認定(財団法人短期大学基準協会) |
| 2010(平成22)年 | 乳幼児保育学科第二部廃止
羽生市「学びあい夢プロジェクト」協議会発足 |



昭和58(1983)年4月、初めての入学式(写真:埼玉純真短期大)



国際化が目指された1980年代、英語学科の授業(写真:埼玉純真短期大)



英語学科は「使える英語」に力を注いだ(写真:埼玉純真短期大)

- | | |
|-------------|---|
| 2011(平成23)年 | 入学定員変更 こども学科:150名→120名 |
| 2012(平成24)年 | 福田敏南初代学長・第2代理事長の顕彰碑除幕
中庭にカフェテリアを設置
子ども支援センター設置
創立30周年を祝う会開催 |
| 2013(平成25)年 | 第三者評価協議会認定(第2クール)(財団法人短期大学基準協会)
千葉敬愛短期大学との相互評価実施
木のこ(多目的教室)完成 |
| 2014(平成26)年 | 入学定員変更 こども学科:120名→150名
羽生市と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定書の調印 |
| 2015(平成27)年 | 埼玉県立誠和福祉高等学校と高大連携に関する協定書の取り交わし
埼玉県立進修館高等学校と高大連携に関する協定書の取り交わし
山村学園短期大学との相互評価実施 |
| 2016(平成28)年 | 埼玉県立羽生第一高等学校と高大連携に関する協定書の取り交わし |
| 2017(平成29)年 | 岩国短期大学と相互評価を実施
サラスワティ外国語大学(インドネシア共和国バリ州)と交流協定締結
行田市教育委員会と「地域連携協力に関する協定書」締結 |
| 2018(平成30)年 | 国立ガリサナ教育大学(インドネシア共和国バリ州)と交流協定締結
平成国際大学、ものづくり大学と三大連携協定締結 |
| 2019(平成31)年 | 平成30年度認証評価協議会認定(財団法人短期大学基準協会)
ものづくり大学との共同研究プロジェクトにより模擬保育室「おひさまランド」完成 |
| 2021(令和3)年 | ものづくり大学との共同研究プロジェクトにより「キッズハウス」完成 |